

伊
万
里

市議会 だより

IMARI SHIGIKAI NEWS

No. 98

令和8年8月(2026年)



鍋島藩窯風鈴市（大川内町）

- お知らせ P.2～3
臨時会・定例会・新議員紹介、
議案質疑・15年表彰
- 予算審査特別委員会 P.4
- 常任委員会 P.5～7
- 特別委員会 P.8
- 一般質問 P.9～15

令和8年第3回定例会は、9月1日(火)開会予定です。

特 集

請願・陳情とは P.16

市議会のホームページは「伊万里市議会」で
検索、または右の二次元コードからご覧
ください。



第2回臨時会

令和8年5月19日（火）

上程された議案は、すべて可決、承認及び同意されました。
また、当日提出された議長不信任決議案は否決されました。

議案の審議結果

- 議案甲第14号 専決処分の承認を求めることについて
（伊万里市税条例の一部を改正する条例）
議案甲第15号 専決処分の承認を求めることについて
（伊万里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案甲第16号 伊万里市長及び副市長の退職手当の特例に関する条例制定について
議案甲第17号 伊万里市副市長の選任について
議案甲第18号 伊万里市教育委員会教育長の任命について
議案甲第19号 伊万里市監査委員の選任について
議案甲第16号から議案甲第19号は、追加議案です。

決議案の採決

議長不信任案決議案（議員2名より提出）
結果：否決（反対12票、賛成7票の少数により否決）

第2回定例会

令和8年6月15日（月）～7月1日（水）

市長改選（4月）後、初の補正予算などが審議され、上程された議案はすべて可決及び同意されました。

議案の審議結果

- ・ 条例議案 4件
- ・ 一般議案 16件
- ・ 予算議案 3件（議案乙第17号及び議案乙第18号は追加議案）
- ・ 請願 1件（付託委員会：環境建設委員会、結果：継続審査）
- ・ 議会議案 2件
- ・ 決議案 1件

令和8年度一般会計補正予算	補正額	19億1,287万8千円
	予算総額	324億4,524万3千円

今回の補正予算は、本年4月の市長改選後の肉付け予算であり、市政運営の具体的な施策に関する事業が計上されました。

全国市議会議長会表彰 ＜議員表彰15年＞



梶山 太 議員



井手 勲 議員

議案質疑

セルフメディケーション税制 (医療費控除)が恒久化に

質疑 岩楯議員

恒久化を機に、市民への周知をどう強化していく方針か。

回答 総務部長

現在の取組みに加え市のホームページで、セルフメディケーション税制のページを作成するなど、市民に広く周知する準備をしている。

イマリンビーチ帯が もっと賑やかに

質疑 西田議員

伊万里湾に親しむ公園整備事業の委託料601万円の内訳は。

回答 建設農林水産部長

委託の内訳は、大きくはトライアルイベントの企画運営及びアンケート調査や実証分析に伴う運営費、安全管理費、資機材の調達協力者との調整、参加者アンケートの実施、集計、分析などの経費。

質疑 西田議員

トライアルイベントは、どういう形で行われるのか。

回答 建設農林水産部長

トライアルイベントは、海と陸のアクティビティを両方楽しむことができるという強みを生かしたものを想定。イベント内容の詳細は、受託者側の創意工夫、ノウハウの活用が前提。様々な協力事業者の参画や集客数、滞在時間など、利用者の動向、利活用における課題や問題点を多角的、多面的に実証できるイベントが基本となる。

新議員紹介

4月19日に投開票された伊万里市議会議員の補欠選挙において、新たに2名の方が当选されました。

任期は、令和9年4月までの約1年間です。ここで当选された方を紹介いたします。今回の補欠選挙の結果、議員数は定数の21名となりました。



岩崎 義弥
3期目 大川内

任期は1年しかありませんが、年4回すべて一般質問を予定しています。誰かの笑顔のために、質問と対話で伊万里をひらきます！



岩楯 忠介
1期目 立花
会派：興隆会

妻の故郷に移り住んで9年。外から来たからこそ見えるこのまちの誇りを、みなさんと育て、次の世代へ手渡せるよう努力いたします。

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、初盆参りや地区の祭りへ会費以外の金品を持参することは禁止されていますので、失礼いたします。どうかご理解いただきますよう、お願いいたします。

議員一同

予算審査特別委員会報告

6月18日および7月1日の本会議において付託されました議案乙第16号・令和8年度伊万里市一般会計補正予算（第2号）、議案乙第17号・令和8年度伊万里市一般会計補正予算（第3号）ならびに議案乙第18号・伊万里市水道事業特別会計補正予算（第1号）について、審査の結果、原案のとおり全会一致で可決すべきものと決定いたしました。

主な質疑・回答

・伊万里・有田消防組合運営負担金について

大規模災害時における緊急消防援助隊の拠点としての機能強化及び施設の長寿命化を図るため、伊万里消防署の改修工事等の負担金として1,307万9,000円が計上されている。事業費9,817万9,000円の内訳について質疑があり、建築費として約5,600万円、設備費等として約4,200万円を計画しているとの回答であった。今回の長寿命化を図る改修工事により10年、15年先までは使用可能と見込んでいるとの回答であった。

・学校図書館連携事業について

学校で支給されているタブレット端末で学校図書館にある本の検索ができるソフト「ぽけっと図書館」の選定理由について質疑があり、現在、運用されている蔵書管理システムと連動することで学校図書館にある本の検索がスムーズになり、さらに、借りた本の記録を残すことができるとの回答であった。また、電子図書館に蔵書するコンテンツの選定理由について質疑があり、194タイトルを計画しており、同じ書籍を複数人が同時に読める契約内容となっているとの回答であった。さらに、この事業の効果を高めるために、タブレット端末を自宅等に持ち帰る場合の使用について質疑があり、タブレット端末の持出し等の取扱い方法については、学校ごとのルールや判断で運用されているとの回答であった。

・観光基盤関連施設整備事業について

西九州自動車道南波多谷口インターチェンジ出口に設置予定の観光案内看板の設置場所について質疑があり、南波多谷口インターチェンジ出口から約800メートル手前への設置を予定しているとの回答であった。

予算審査特別委員会	◎委員長 前田 久年	○副委員長 力武英一郎
総務分科会	◎分科会長 盛 泰子	○副分科会長 松尾 伸人
	梶山 太 / 金原 晋作 / 山口 常人 / 井手 勲	
文教厚生分科会	◎分科会長 松尾 真介	○副分科会長 西田晃一郎
	岩楯 忠介 / 塚本 博幸 / 木寺 智子 / 児玉不二子 / 力武 勝範	
環境建設分科会	◎分科会長 林 博幸	○副分科会長 川添 智徳
	力武英一郎 / 岩崎 義弥 / 前田 邦幸 / 香月 孝夫 / 前田 久年	

* 歳入の審査を予算審査特別委員会全体で、歳出の審査を各分科会で行っている。

総務委員会

(所管) 総務部、総合政策部、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属さない事項

市役所の組織が変わります（令和8年8月1日～）

これまで	これから	主な変更点
総合政策部	経営企画部	名前を変更。 市全体の企画や行政経営を担当
市民交流部	市民共生部	名前を変更。 地域づくりや市民活動を担当
(なし)	経済振興部（新設）	農業・商工業・企業誘致・港湾・観光を まとめて担当
建設農林水産部	建設農林水産部	農業振興課が経済振興部へ移管
総務部	総務部	変更なし
健康福祉部	健康福祉部	変更なし
上下水道部	上下水道部	変更なし
教育委員会	教育委員会	変更なし

●特に変わるところ 経済振興部を新設

農業・商工業・企業誘致・港湾・観光を一つの部にまとめ、地域経済の活性化を進める。

質疑 再編はいつごろから検討されたのか。

回答 令和7年10月頃から。

質疑 市民に組織図を付けて丁寧な説明をされては。

回答 市民サービスの向上に寄与できるよう説明する。

市税条例が変わります

国の税制改正に伴い、伊万里市税条例の一部を改正する。主な内容は以下のとおり。

●長期譲渡所得に係る課税の見直し

優良な住宅地の造成等のため、地方公共団体などに土地等を譲渡した場合に、長期譲渡所得に対する所得割の税率を3%から2.4%とするなどの特例措置について、地すべり防止区域等の区域内にある土地等の譲渡を対象外とする。

●固定資産税の負担軽減

固定資産税が課税される課税標準額

が引き上げられる。

家屋 20万円 → 30万円

償却資産 150万円 → 180万円

所有する全ての家屋や償却資産の課税標準の合計額が免税点未満の場合は、固定資産税は課税されない。

質疑 本市税収への影響額と非課税になる人数は。

回答 家屋の税収が約200万円減少し、非課税対象者が575人増加する。償却資産については、税収が約170万円減少し、非課税対象者が74人増加する。

〈委員長〉盛 泰子／〈副委員長〉松尾 伸人／中山 光義／梶山 太／金原 晋作／山口 常人／井手 勲

学習用タブレットパソコン機器が新しくなります

市立学校学習用タブレットパソコン機器の取得について、令和2年度に導入されたGIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台の端末更新に伴い、小、中学校及び義務教育学校の計20校分、4,291台のタブレット機器を2億1,216万8,495円で取得する。

質疑 新端末へのデータ移行と教員への支援などはどのような形で行われるのか。

回答 データ移行等のセッティング作業は別途委託業務で行う。教職員への支援は、現在と同様に配置されているICT支援員が訪問等により実施する。

質疑 今回はブラウザやクラウド活用を想定した導入で約2億円と高額だが、今後はどのような更新スケジュールを想定しているか。

回答 日常的に使用する端末のため耐用年数は5年と考えており、予定通りにいけば5年後、または6年後に次の更新タイミングが来ると想定している。

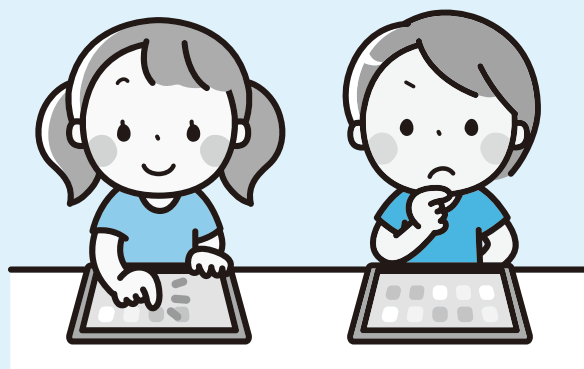
質疑 県内市町による共同調達（プロポーザル審査で2社から最優秀事業者

を選定）を行ったとのことだが、どのようなメリットがあるか。

回答 最もメリットがあるのは価格面である。伊万里市の約4,000台に加え、県内他市町を含めると数万台になるため、スケールメリット、ボリュームディスカウント（大量購入で単価が下がる）が働くもの考える。

質疑 現行端末の処分方法はどうなるのか。また、データ消去はどのように行うのか。

回答 現行機は契約先に無償で引き渡す。データ消去については、物理破壊ではなく、ソフトウェアによるデータ消去を行い、証明書を発行してもらう形での処分となる。



〈委員長〉松尾 真介／〈副委員長〉西田晃一郎／塚本 博幸／木寺 智子／児玉不二子／力武 勝範

景観計画に関する請願書が提出されました

令和8年6月2日、景観計画に関する請願書が、紹介議員である西田議員の立ち会いのもと、請願者から議長へ提出され、受理された。

この請願書については、環境建設委員会に付託され審査されることとなった。

< 請願の趣旨 >

伊万里市景観計画において、対象地区に大川内町正力坊区の一部が含まれている。一方で、正力坊区民に対しては事前の説明や協議が一切行われず、住民は広報で初めてその事実を知ることとなったが、大川内山区民に対しては、景観計画策定に向けたワークショップ等が実施されていた。この地域間での対応の差異は、行政の公平性及び透明性に重大な疑念を抱かざるを得ない。

以上のことから、下記の事項について請願する。

< 請願事項 >

1. 正力坊区を伊万里市景観計画の対象区域から除外すること。
2. 景観計画策定を担当した当時の建設農林水産部、都市政策課職員に対し、地域間の公平な対応を徹底するための教育・研修を強化すること。

※この請願第1号景観計画に関する請願書については、環境建設委員会において審査の結果、全会一致で継続審査とすべきものと決定した。

< 継続審査の理由は >

請願者との意見交換の場を設ける予定としており、議会閉会日までに請願者との日程調整を行うことが困難であることによるもの。



〈委員長〉 林 博幸／〈副委員長〉 川添 智徳／力武英一郎／岩崎 義弥／前田 邦幸／香月 孝夫／前田 久年

特別委員会の紹介

議会機能強化特別委員会

人口減少等の社会情勢が急速に変化する中で市民のニーズに的確に対応できるよう、市民に開かれた議会、政策形成能力の高い議会及び災害時等においても機能を維持できる議会（業務継続計画の確立等）を実現するため、議会機能のさらなる強化について調査研究を行う。

委員長	山口	常人
副委員長	林	博幸
委員	岩楯	忠介
	木寺	智子
	川添	智徳
	岩崎	義弥
	松尾	真介



原子力防災等調査特別委員会

玄海原子力発電所から30キロメートル圏内（UPZ）に位置する本市において、市民の安全・安心を確保するため原子力災害時の体制（避難体制、周辺自治体との連携等）の充実・強化について調査研究を行う。

委員長	前田	久年
副委員長	金原	晋作
委員	梶山	太
	児玉	不二子
	西田	晃一郎
	力武	勝範



一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
梶山 太 (翠蓮会)	1. STEAM教育の推進について (1)STEAM教育の現状 (2)推進の効果と課題 (3)今後の展開 2. スクールロイヤーの活用について (1)現状と課題 (2)今後の取組 3. 海に親しむ公園整備について (1)基本認識 (2)民間活力導入と魅力向上
岩楯 忠介 (興隆会)	1. 移住支援について (1)移住支援の体制強化 (2)地域おこし協力隊 2. 社会教育について (1)人口減少時代における社会教育の意義 (2)社会教育の推進に向けての市の組織体制 (3)公共施設整備に係るソフト事業への取組 3. これからの移住支援施策と社会教育を核とした「人づくり」における市長の思いについて
香月 孝夫 (伊想会)	1. 観光政策について (1)観光政策の実績と今後の取組 (2)インバウンド対策 (3)本市の観光ビジョン
山口 常人 (幸風会)	1. 農業の振興策について (1)生産者を取り巻く課題 (2)伊万里産ブランドの現況 (3)支援策の状況 2. ふるさと納税について (1)令和7年度までの推移と今後に向けて (2)返礼品の現況と納税者の選択肢 3. 統一地方選挙に向けて (1)期日前投票の推移 (2)市議補選の無投票での分析 (3)市長選挙の投票率で比較と分析 4. 中山間地域の活性化について (1)農家民宿の推進 (2)竹の古場公園の整備
盛 泰子 (伊想会)	1. 一般廃棄物処理計画について (1)3Rの取組 (2)市の責務 (3)廃食油の回収 2. 高齢者の見守りについて (1)伊万里市における見守りサービス (2)GPSによる見守り 3. スクールロイヤー(学校弁護士)について (1)顧問弁護士への相談 (2)県スクールロイヤーへの相談 (3)県への要請状況 4. 電子投票について (1)市長選挙における投開票の状況 (2)電子投票の検討
塚本 博幸 (幸風会)	1. 伊万里湾“海に親しむ公園”整備と地域活性化について (1)取組状況 (2)交流人口拡大など期待される効果 (3)今後のスケジュール (4)市長の考え 2. 国際交流事業の今後に向けて (1)大連市との交流事業 (2)国際交流専門人材の確保と処遇 3. 中山間地域農業の持続的発展について (1)地域計画策定後の進捗と課題 (2)中山間地域への支援策 (3)今後の活動計画

前田 邦幸 (興隆会)	1. 4月の市長選挙の公約について (1)子育て世代負担軽減 (2)市民の健康と福祉を守る (3)もつかる農業をバックアップ (4)まちなかに賑わいを (5)交通支援 (6)最終処分場の解決 (7)退職金の考え 2. 教育行政について (1)中学校の統廃合に対する考え (2)部活動に対する考え (3)小中学校及び義務教育学校における原子力防災対応マニュアル
木寺 智子 (翠蓮会)	1. 中山間地域で安心して暮らし続けられるまちづくりについて (1)農地・水路・生活環境の維持と防災の視点 (2)近隣集落や地域外の担い手との連携 (3)地域の主体性を支える伴走支援と持続可能な地域運営の仕組み 2. 学校給食における地元有機野菜の活用について (1)地産地消と地元産食材の活用状況 (2)地元有機野菜の段階的な導入
児玉不二子	1. 小、中学校及び義務教育学校における防犯対策と緊急時対応について (1)学校への不審者侵入対策 (2)校内での緊急時対応 2. 地域の拠点となる自治公民館の環境整備について (1)安心・安全な利用環境の整備
岩崎 義弥	1. 物価高騰対策の商品券 (1)なぜ伊万里市5,000円、有田町18,000円なのか (2)買えない人にも優しい「クーポン券」を 2. 市長が伊万里ケーブルテレビ取締役役に就任 (1)就任の経緯および法的問題 (2)取引等への影響 (3)市長の考え 3. 最終処分場の解決 (1)協議会の選出方法および責任 (2)市長の考える「解決」とは (3)リサイクル先進都市への考え (4)市長の政治的責任
林 博幸 (興隆会)	1. スポーツを通じたまちづくりについて (1)国見台公園総合整備 (2)市のスポーツ振興 2. 浦ノ崎の埋立地について (1)埋め立ての状況 (2)ウインドパワープロジェクトの取組状況 (3)今後の利活用に向けての対応 3. 教育長就任に当たっての抱負
力武英一郎 (翠蓮会)	1. 持続可能な地域づくりについて (1)公共用地の維持管理の現状 (2)公共用地の草刈・環境整備の現状 (3)現在の課題 (4)今後の除草対応策 (5)官民連携の必要性について 2. 部活動の地域移行について (1)進捗状況 (2)今後の展開とスケジュール

一般質問のYouTube
配信はこちら



伊万里市議会 (議員名)

検索



学校現場の負担軽減を 目指して

梶山 太

質問 AIなどの技術革新が進む中、「STEAM教育」の現状と今後の進め方を伺いたい。

答弁 教育部長

総合的な学習の時間を使って地域の環境問題やまちの活性化について、子どもたちが自分で調べて発表する学習を行っている。実際にタブレットを使用し、ドローンを動かすプログラミングを学んでいる学校もある。今後も先生たちの研修やICT支援員の配置、タブレットの更新などを進めていく。

答弁 市長

市内には素晴らしい企業がたくさんある。今後はこれらの地元の企業と連携し、子どもたちが最先端の技術に触れられる機会を作っていく。

質問 先生たちを支え、トラブルを防ぐ「スクールロイヤー」の活用について伺いたい。

答弁 教育部長

現在は教育委員会が窓口となり、市の顧問弁護士に相談している。今後は相談だけでなく、「いじめ防止」のための研修への参加や、話し合いへの同席といった一歩進んだ活用方法も検討し、県のサポートが市や町へも広がるよう働きかけていく。

「伊万里湾の魅力を生かした 「海に親しむ公園づくり」を問う

質問 伊万里湾に面した3つの施設を、一年中誘客できる魅力的な場所にする方向性を伺いたい。

答弁 建設農林水産部長

3つの施設を連携させ、夏以外でも伊万里を楽しんでもらえるエリアの計画を目指している。また、民間活力の導入も含め、海の体験活動も検討していく。



移住の窓口をわかりやすく

【その他の主な質問】

・市長の人づくりへの思い

岩楯 忠介

質問 移住で突出した成果を上げた地域に共通するのは「もっとわかりやすく」の徹底。本市の移住相談は、窓口の名称も電話対応もホームページも外から分かりにくい。移住を考える方の目線での改善を。

答弁 総合政策部長

課の名称から相談窓口を連想できない分かりにくさは、反省すべき点。早速、庁舎の案内表示と課内のつり看板を設置し、電話も「移住相談の窓口です」と応答できるよう改めた。ホームページも順次見直し、気軽に安心して相談できる窓口づくりに努める。

社会教育をまちづくりの核に

質問 社会教育とは、学校の外で行われる、子どもから高齢者まで全世代の学びのこと。公民館もコミュニティセンターも図書館も、みな社会教育の場である。人と人が学び合い、つながりをつくるこの営みを、国は人口減少時代の地域づくりの中核に位置づけ、今年5月にも新しい検討のまとめを公表するなど、見直しを進めている。

「人づくり」を最優先に掲げる本市の総合計画も踏まえ、市は社会教育をどのように位置づけ、現状をどう受け止めているか。

答弁 教育長

社会教育は、幼児から高齢者までが生涯にわたって自主的に学び続け、地域社会の担い手として成長していくための重要な基盤であり、公的機関が責任を持って推進すべきもの。人口減少や少子高齢化が進む現在、その役割はますます重要性を増している。本市では「子ども伊万里塾」などの人材育成に取り組んできたが、担い手不足や参加者の固定化などの課題もある。今後は市長部局とも連携し、市民の学びを地域の活力へつなげていきたい。

観光施策について



香月 孝夫

質問 近年の観光客の推移は。

答弁 市民交流部長

全国から伊万里市への来訪者は令和元年約89万人、令和3年約62万人、令和7年では約98万人、コロナ禍で一時落ち込むも回復し今後も増加傾向にある。

質問 福岡都市圏ターゲットの取組状況と効果は。

答弁 市民交流部長

福岡都市圏の30代40代女性をメインターゲットとし観光情報の発信や特産品の販売促進、プロモーションフェアなどを積極的に展開。西九州自動車道の延伸効果に加え、継続した福岡都市圏をターゲットとしたPR活動の効果が着実にあらわれている。

質問 今後の取組は。

答弁 市民交流部長

観光客を各所へ呼び込む機会を逃さないよう、府招IC付近への観光案内看板設置などを含めた環境整備を積極的に進める。

質問 インバウンド対策と今後の取組は。

答弁 市民交流部長

広域周遊観光や滞在期間の延伸を促進するため戦略的かつ効果的な連携事業を展開するほか、農家民宿などの体験型観光の可能性を検討。また人工知能を活用したAIコンシェルジュの導入など、外国人旅行者の視点に立ったおもてなしを充実させるための取組を観光協会と連携し推進予定。

質問 今後の観光ビジョンは。

答弁 市長

組織機構改革を行い経済振興部を新設。伊万里全体としての地域経済の活性化のためにも、また観光客を一過性に終わらせないように循環させる取組が必要である。その仕組みづくりなどに今後取り組みたい。

農業の振興策について



山口 常人

【その他の主な質問】

- ・統一地方選挙について
- ・中山間地域の活性化について

質問 生産者を取り巻く課題はどのようなものがあるのか。

答弁 建設農林水産部長

課題については、中でも「生産資材の高騰」が、今の農業経営に大きな課題と考えている。

質問 伊万里産ブランドの現況について尋ねる。

答弁 建設農林水産部長

伊万里を代表する農産物、伊万里牛、伊万里梨ともに、過去5年間の推移を見ても大変厳しい状況にある。

質問 資材高騰対策について、これまでと令和8年度の市としての支援策を伺う。

答弁 建設農林水産部長

これまで多くの物価高対策を実施し、令和8年度は、水稻営農物価高騰対策の支援事業を速やかに行う。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の受け入れ寄附金額が、過去5年間での推移はどうか。

答弁 総合政策部長

ふるさと納税の受け入れは、ここ5年間では令和4年度が、29億円と最高額であった。一方で令和7年度が大きく減少した。国の方でも経費率の見直し等制度改正が予定されている。

質問 返礼品の現況と寄附者の選択肢について伺いたい。

答弁 総合政策部長

伊万里牛、伊万里梨、伊万里焼、酒等が上位を占めていて、本市の地域ブランドといえる特産品が人気で好評。ふるさと納税制度が厳格化する中で、ニーズも変化し選ばれる工夫と努力を今後も対応していく。



『エコ屋』への支援と 廃食油回収場所の増設

【その他の主な質問】

- ・学校弁護士
- ・電子投票の検討

盛 泰子

質問 ①旧玉屋裏口近くで活動している「エコ屋」は2025年度には1トンを超える不活用品を回収し、求める人への橋渡しを行い、ごみ減量化に大きく寄与している。ごみ処理基本計画の趣旨からしても市が支援を。②廃食油の回収が伊万里駅前スーパーで始まっているが、もっと箇所数を増やせないか。

答弁 市民交流部長

①エコ屋の運営主体である「クリーンの環」にはこれまでもゆめ基金などの支援を行っているが、資金面への支援以外にも市HPで取り組みやイベントを紹介するとともに、丁寧な意見交換を通じてどのような支援ができるか検討したい。②4月に27.9キロ、5月に43.2キロ回収された。市民への周知を進めると共に、協力企業との協議を行って回収箇所の拡大を図っていく。

認知症高齢者への支援

質問 以前提案したが、万一行方不明となった場合に備えGPS（位置情報）を利用するサービスに取り組むことの検討状況は。

答弁 健康福祉部長

位置情報に誤差が生じること、端末を携帯するとは限らないこと、充電の必要性、自己負担があること等の課題がある。

質問 別のサービスとして、衣類や持ち物に貼った見守りシールを読み取ることで家族等へ通知がいくシステムがある。まずはこれを導入してはどうか。

答弁 市長

見守りシールから始めたいと考えている。



海に親しむ公園整備と 地域活性化について

【その他の主な質問】

- ・国際交流事業の今後
- ・中山間地農業の持続的発展

塚本 博幸

質問 これまでの佐賀県との協議内容や取り組み状況は。

答弁 建設農林水産部長

県は令和5年7月政策部内にMIGAKIプロジェクトを創設。市は令和6年2月から12月までの間、計7回にわたり目指す姿や検討事項の整理、国の交付金の活用など協議を重ねてきた。また令和7年度には、イマリンビーチ・福田マリーナ・伊万里ファミリーパークの利活用に関する協定など、県と締結し、共同事業として、この3施設の民間活力導入可能性調査を実施した。

質問 福田マリーナ未整備区域の整備は。

答弁 建設農林水産部長

今回の事業において、未整備区域も検討の対象とし、今後は、整備の必要性や民間事業者との役割分担について検討するとともに、国等の制度を活用した財源確保の検討も必要になることから、早急に事業手法の具体化を進めていく。

質問 交流人口拡大など期待する効果は。

答弁 建設農林水産部長

福田地区が持つ豊かな自然環境のポテンシャルについては、高い評価を受けている一方で、収益が見込まれる施設整備が必要との課題もある。より実効性の高い事業を選択していく。

質問 公園事業に対する市長の思いは。

答弁 市長

佐賀県・民間事業者の力をしっかり借りて、豊かな自然環境の中に位置しているこの伊万里湾3拠点を整備し伊万里の自然を満喫していただき観光地を回遊できる仕組みづくりを確立していく。



4月の市長選挙の 公約について

前田 邦幸

質問 子育て世代の負担軽減の中で、保育料無料化、学校体育館のエアコン設置と書いておられたがいつから実施するのか。

答弁 市長

保育料無料化は、市全体の予算を見直す中で、任期中に実現したい。

質問 公約の中に市長退職金を辞退してまちづくりに活用します！と書かれているが、辞めた後の使い道を書かれたのか。

答弁 市長

まちづくりという広い意味であって、今回はまちづくりと言葉に変えているだけ。

教育行政について

質問 少子化により、中学校の現実的な学校規模を維持するため、10年を見据えて、学校規模適正化協議会で早急に統廃合の協議をすべきでは。

答弁 教育長

地域の方々の声を聞きながら、学校統廃合の必要性を総合的に判断し、適切な時期を見極めた上で、再開を検討したい。

質問 小中学校、義務教育学校では原子力防災対応マニュアルをどのように指導をされているか。

答弁 教育長

県教育委員会と平成28年度に、学校が実態に即して行動できる学校避難計画と共通マニュアルを制作した。翌年度から、各学校で運用をはじめており、毎年、計画の確認、見直し、提出を求め、内容を把握している。

質問 国や県の原子力防災対策を現場の先生方が理解する勉強会など指導されているか。

答弁 教育長

全職員で、役割分担等も毎年見直し、共通理解を図り、屋内退避の避難訓練等も実施している。



中山間地域の暮らしを 守るために

木寺 智子

質問 農地・農道・水路は生活インフラ、防災・減災にも重要。高齢化等で維持が難しくなる中、市の認識と支援は。

答弁 建設農林水産部長

本市も高齢化や担い手不足で維持管理、有害鳥獣対策が困難。農地の洪水防止・土砂崩壊防止機能を踏まえ、直接支払制度等で支援する。

質問 ネットワーク化加算を活用し、近隣集落の連携や事務一元化を進められないか。

答弁 建設農林水産部長

複数集落の協議会設置等に年間最大100万円が加算される。活用事例はないが、事務負担軽減と体制強化に有効と考える。

質問 農村RMOを見据え、地域主体の取組を市はどう伴走支援するか。

答弁 建設農林水産部長

リーダー育成や制度周知を進め、課題の共有を支える。まちづくり運営協議会との連携も不可欠で、関係部署と連携し普及啓発する。

学校における地元有機野菜の活用

質問 給食の地元産・県内産食材の使用状況は。

答弁 教育部長

伊万里産100%はアスパラ、巨峰、梨、みかん等。県内産は過去3年平均21.8%で、使用量の多い野菜は県外産が多い。

質問 給食に地元有機野菜を一部品目・献立から導入できないか。

答弁 教育部長

1日約4,600食を提供し、納品から配送まで分刻み。数量、価格、規格、安定供給が課題で、現実的には厳しい。

質問 有機農業等を食育につなげられないか。

答弁 教育部長

生産者の出前授業や体験活動等を通じ、郷土への愛着と多様な農業への理解を広げる。



学校における防犯対策と 緊急時対応について

児玉不二子

質問 小中学校および義務教育学校における不審者侵入等の防犯対策や緊急時の体制は、どのようになっているか。

答弁 教育長

危機管理マニュアルを策定し、全職員で共有している。具体的な行動手順や連絡体制を明確にしており、訓練や研修も実施して安全確保に努めている。

質問 補正予算に提案されている学校防犯カメラ設置事業の目的と、期待される効果は何か。

答弁 教育部長

校門付近への設置で防犯体制を強化する。監視下にあると実感させることで犯罪の抑止と未然防止に結びつけ、児童生徒の安心感を醸成する。

自治公民館の環境整備

質問 地域の拠点となる自治公民館における、エアコンの設置状況はどのようになっているか。

答弁 市民交流部長

市内にある181の自治公民館のうち、現時点でエアコンが1台も設置されていない施設は16か所であることを把握している。

質問 エアコン未設置の自治公民館が活用できる、国や県などの補助・助成制度はあるか。

答弁 市民交流部長

一般財団法人自治総合センターの「一般コミュニティ助成事業」があり、設備整備への助成実績がある。今回の補正予算でも1地区がこの制度を利用してエアコン設置等に取り組む。



市長が伊万里CATV 取締役就任したが

【その他の主な質問】

・物価高騰対策の商品券

岩崎 義弥

質問 市長は発注する市の代表者でもあるが問題はないか。

答弁 総合政策部長

昨年度までは総務部長を選任していたが、今年度から番組や映像制作等に加え、物品の購入も競争入札資格登録申請があり、入札資格指名審査委員会の副委員長かつ契約担当部門を所管する総務部長が、同社の非常勤取締役就任することは好ましくないと判断し辞任した。市長または監査委員の選任を検討したが、監査委員は5月21日退職予定だったため市長を選任した。総務省通知を踏まえた上、市長が適任。

答弁 市長

公共性の確保からも市の関与は必要。消去法的に今回は市長だが、今後は教育長や監査委員も可能であり、検討していく。

黒塩区ゴミ処分場の「解決」とは

質問 市長は反対の考えの人も協議会に入ってもらおうと言っていたが苦情がきている。協議会委員の選任方法と責任の範囲は。

答弁 市民交流部長

黒川町と牧島地区の区長会で選考、反対を表明している方も入っている。協議会の役割は最終処分場の建設の是非を協議する場ではなく覚書や協定の素案を委員自らが考え話し合い作っていくことであり、責任を負うことはない。

質問 協議会の規約には地域住民の安全安心な暮らしを図ることを目的とある。地域住民の不安が解消されるまで協議して欲しいが。

答弁 市長

議論が出尽くし、お互いそれでいいですよとなるのが解決。時間をかけてでもやる。これが一番だと思っている。



スポーツを通じたまちづくりについて

【その他の主な質問】
・教育長就任の抱負

林 博幸

質問 国見台公園整備は、市長が最も力を入れている施策の一つであると思う。市長はどのような考えでこの整備に取り組んでいくのか。

答弁 市長

国見台公園は、スポーツ、健康、憩い、防災の拠点に加えて、市外から伊万里を訪れる人たちの目的の一つとなるような素晴らしい施設にしたい。

整備の中心となる国見台体育館を新たなシンボルとして、スポーツ大会や各種イベントを開催し、市内外からたくさんの人に来ていただける場所になることを考えていく。

質問 伊万里市は、若楠国体（昭和51年）と佐賀国スポ（令和6年）でホッケー会場となり、グラウンドも2箇所整備され公式試合ができる環境も整っている。また、今ではフル代表や各年代の日本代表も輩出するなど競技力も向上した。埼玉県飯能市のように、ホッケーを活用し「ホッケーのまち伊万里」として市を挙げてホッケー振興を図ってはどうか。

答弁 市長

一つの競技に絞ってではなく、すべてのスポーツを楽しんでもらえるように取り組んでいく。

浦ノ崎埋立地について

質問 山代町浦ノ崎の港湾用地（1期工区）が完成間近となった今、ウィンドパワープロジェクトを実現するために今後どう取組を進めていくのか。

答弁 市長

今後は、調査研究だけではなく、将来的な拠点化の実現に向けたロードマップを策定し、具体的な利活用を考えていく。

また、企業誘致を可能にするための土地化についても県に働きかけていく。



持続可能な地域づくりについて

力武英一郎

質問 全国では企業など多様な主体が地域課題に参画する官民連携の取組が進められているが、官民連携の必要性についてどのように考えているか。

答弁 市民交流部長

社会構造の変化が進み、行政だけでは対応しきれない課題が増えている。企業のノウハウを活かせるような官民連携が今後必要になると考える。

質問 今後の官民連携による地域課題について市長の考えは。

答弁 市長

地域貢献を考えている企業と地域団体とが対面して話すことができる「出会いの場」を市が設けて、お互いに無理のない形でのマッチングにより地域課題の解決を図ることを検討している。この仕組みを通じ「地域・企業・市」が連携し、地域課題に取り組み、持続可能な地域づくりに繋げていきたい。

部活動の地域移行について

質問 運動部とは異なる課題がある文化系クラブへの対応についての考えは。

答弁 教育長

基本的に屋内施設での活動となり公共施設の活用が必要になると見込まれる。加えて吹奏楽などでは防音設備がある施設に限られること、楽器等の保管場所も必要となるなど課題も想定され、市文化連盟からのご意見を踏まえつつ検討を進める。

質問 今後の展開とスケジュールは。

答弁 教育長

認定地域クラブ制度の要綱を、本年秋の中学校入学説明会の時期に周知予定。年明けに認定受付を開始し、来年春に認定クラブ一覧として公表する予定。

あなたの声を市政へ！「請願」と「陳情」の仕組み

市民の皆様が「市政をこうしてほしい」「条例や制度を変えてほしい」といった要望を、直接市議会に提出できる制度があるのをご存知ですか？

これには「請願」と「陳情」の2つの方法があります。

○「請願」と「陳情」は何が違うの？

一番の大きな違いは、「紹介議員（応援してくれる議員）が必要かどうか」です。

項 目	請願（せいがん）	陳情（ちんじょう）
紹介議員	必要です （1名以上の伊万里市議会議員の署名または記名押印が必要）	不要です （どなたでも単独で提出できます）
提出できる人	どなたでも （市外在住の方でも可能。法人の場合は、法人の所在地。法人の名称及び代表者の署名又は記名押印。）	どなたでも （市外在住の方でも可能。法人の場合は、法人の所在地。法人の名称及び代表者の署名又は記名押印。）
議会での扱い	委員会や本会議で審査し、「採択」・「不採択」などの決定がなされます。	基本的に議員全員に写しが配布されますが、内容等により取扱いが異なります。

受理した陳情書は、議長に供覧します。なお、持参された場合は、直近の定例会で議場において写しを全議員に配布します。

○請願の提出から決定までの流れ

1. 書類の提出

必要事項（要望の趣旨、理由、提出年月日、提出者の住所・氏名など）を記載した書面を、市議会議長宛てに提出します。

2. 委員会での審査

本会議で担当の委員会（総務、文教厚生、経済建設など）に振り分けられ、専門的・具体的に中身を審査します。

3. 本会議での最終決定

委員会の審査結果をもとに、本会議において「採択（賛成）」・「不採択（反対）」などの

最終決定がなされます。

4. 結果のご連絡とその後

決定した結果は、提出された代表者の方へ通知されます。

○採択された後は？

議会で「採択」されたものは、市長などの執行機関に送られ、市政への反映や要望の実現を求めています。

お問い合わせ先：伊万里市議会事務局
（市役所庁舎内）

電話番号：0955-23-2594

編集後記

6月定例会では、市民生活に関わるさまざまな議案や課題について議論が行われました。議会だよりを通して、その内容を分かりやすくお伝えできれば幸いです。

これから夏本番を迎えます。熱中症対策や台風への備えなど、健康と安全に気を付けてお過ごしください。

今後も市民の皆さまの声を大切にしながら、より良いまちづくりに努めてまいります。

（児玉 不二子）

広報広聴委員会

〈委員長〉西田晃一郎

〈副委員長〉児玉不二子

〈委員〉梶山 太 金原 晋作
木寺 智子 川添 智徳
松尾 伸人

〔発行・ご意見〕

伊万里市議会 伊万里市立花町 1355-1
TEL0955-23-2594 FAX0955-22-1277
E-mail:gikai@city.imari.lg.jp

〔編集〕広報広聴委員会 〔印刷〕株夢幻企画